

# 日本航空株式会社 2016年3月期第1四半期 決算説明会

2015年7月30日  
取締役専務執行役員 齊藤典和



16L-34R B3



**2016年3月期第1四半期 業績概要**

P.2



**2016年3月期第1四半期 業績詳細**

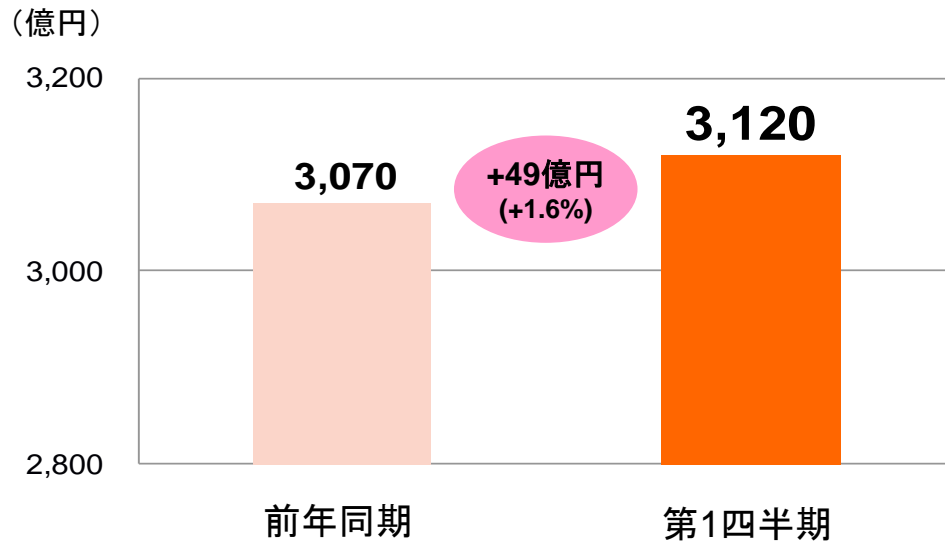
P.3



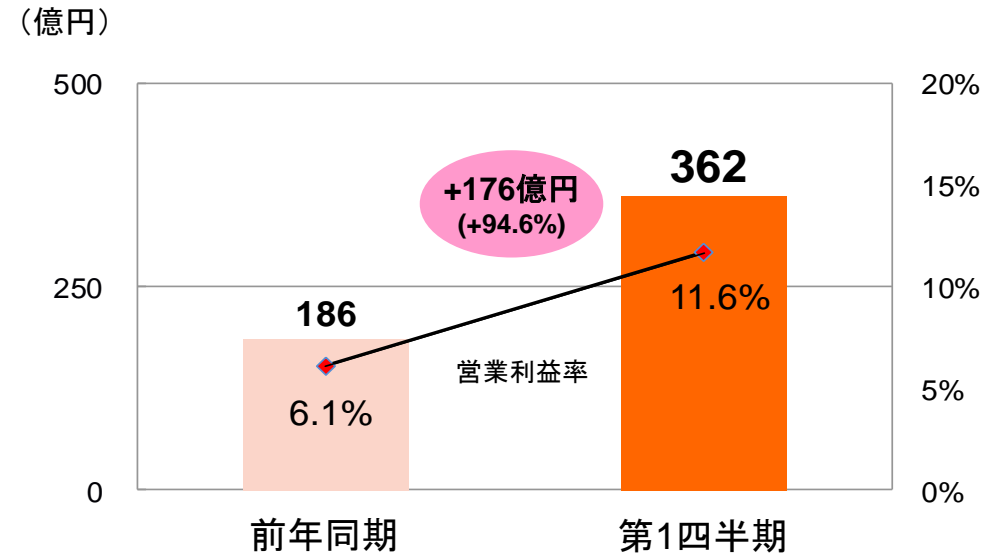
**参考資料**

P.15

## 営業収益



## 営業利益



## 燃油・為替市況実績

|                      | 前年同期  | 第1四半期 | 前年同期比  |
|----------------------|-------|-------|--------|
| 為替 (円/USD)           | 102.0 | 120.3 | +17.9% |
| シンガポールケロシン (USD/bbl) | 120.1 | 73.3  | ▲39.0% |
| ドバイ原油 (USD/bbl)      | 104.9 | 58.9  | ▲43.9% |

- ✓ 前年比で増収増益となり、営業利益は362億円
- ✓ 営業利益率は11.6%となり、目標とする営業利益率水準(10%以上)を上回って順調に推移

- 2016年3月期第1四半期の業績概要について、ご説明いたします。
- 営業収益は、国内線、国際線の増収等により前年対比1.6%増加の3,120億円となりました。
- 営業利益は、増収や燃油市況の下落により、前年対比94.6%増加の362億円となりました。
- 既に公表しております営業利益1,720億円の達成に向け順調に推移しており、今後もさらに高い水準の営業利益達成を目指してまいります。

## 2016年3月期 第1四半期 連結経営成績

| (単位:億円)                        | 前年同期   | 第1四半期  | 前年同期比   |
|--------------------------------|--------|--------|---------|
| 営業収益                           | 3,070  | 3,120  | +1.6%   |
| 航空運送連結                         | 2,741  | 2,824  | +3.0%   |
| 営業費用                           | 2,884  | 2,757  | ▲4.4%   |
| 航空運送連結                         | 2,589  | 2,501  | ▲3.4%   |
| 営業利益                           | 186    | 362    | +94.6%  |
| 航空運送連結                         | 152    | 322    | +112.1% |
| 営業利益率 (%)                      | 6.1%   | 11.6%  | +5.6pt  |
| 経常利益                           | 169    | 392    | +131.7% |
| 四半期純利益 <sup>(1)</sup>          | 147    | 326    | +120.7% |
| ASK(百万席キ口)                     | 20,796 | 20,981 | +0.9%   |
| RPK(百万人キ口)                     | 14,251 | 15,021 | +5.4%   |
| EBITDAマージン (%) <sup>(2)</sup>  | 13.0%  | 18.5%  | +5.5pt  |
| EBITDARマージン (%) <sup>(3)</sup> | 15.2%  | 20.5%  | +5.3pt  |
| ユニットコスト(円) <sup>(4)</sup>      | 8.8    | 9.1    | +0.3    |
| 燃油費含む                          | 12.5   | 11.9   | ▲0.5    |

- ✓ 営業収益は前年比+1.6%の3,120億円
- ✓ 営業利益は前年比+94.6%の362億円
- ✓ 営業利益率は11.6%
- ✓ 経常利益は前年比+131.7%の392億円
- ✓ 四半期純利益は前年比+120.7%の326億円

- 注: 1. 親会社株主に帰属する四半期純利益  
 2. EBITDAマージン=EBITDA/営業収益 EBITDA=営業利益+減価償却費  
 3. EBITDARマージン=EBITDAR/営業収益 EBITDAR=営業利益+減価償却費+航空機材賃借料  
 4. ユニットコスト=航空運送連結費用(燃油費、収入費用両建ての関連会社向け取引を除く) / ASK

- 2016年3月期第1四半期の営業収益は、国際線における訪日旅客の増加、国内線における単価上昇の効果を主な要因として、前年対比1.6%増加の3,120億円となりました。
- 営業費用は、燃油市況下落による燃油費の減少を主な要因として、前年対比4.4%減少の2,757億円となりました。
- 結果、当社の2016年3月期第1四半期の営業利益は362億円となり、営業利益率は11.6%となりました。
- 燃油費を除くユニットコストは9.1円となり、前年対比0.3円上昇いたしましたが、引き続きコスト管理を徹底してまいります。

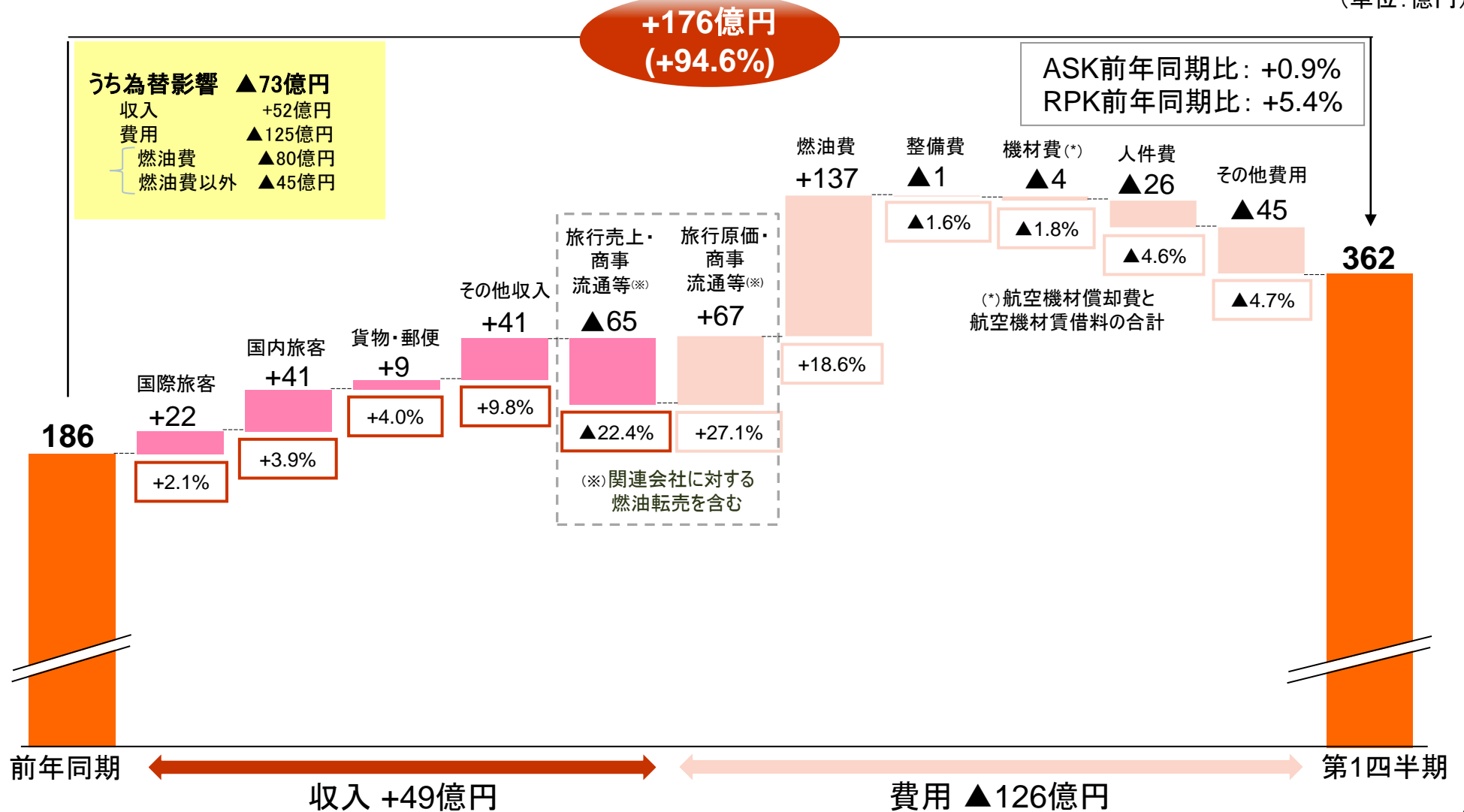
# 営業利益増減の推移



JAPAN AIRLINES

2016年3月期 第1四半期

(単位: 億円)



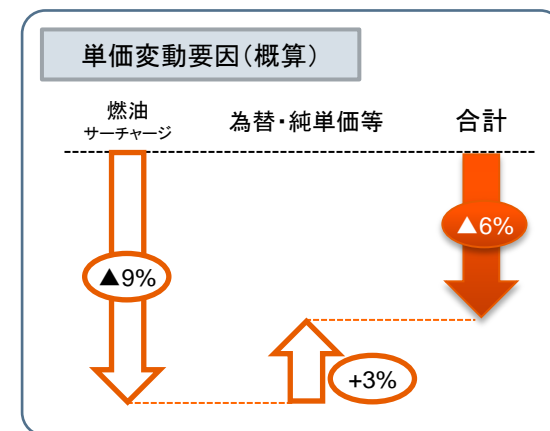
- 営業利益は前年対比176億円増加となりましたが、内訳としては、収入が前年対比49億円増加、費用が126億円減少となりました。
- 収入面では、国際旅客収入がインバウンド需要増加、為替影響等により22億円の増収となりました。国内旅客収入は、SKY NEXTをはじめとする各種施策による高単価旅客の増加などにより、前年対比41億円の増収となりました。
- 費用面では、燃油市況下落の影響が大きくなっております。



## 国際旅客事業の状況

|                                 | 前年同期   | 第1四半期         | 前年同期比  |
|---------------------------------|--------|---------------|--------|
| 旅客収入<br>(億円)                    | 1,072  | <b>1,094</b>  | +2.1%  |
| ASK<br>(百万席キ口)                  | 11,728 | <b>12,007</b> | +2.4%  |
| RPK<br>(百万人キ口)                  | 8,596  | <b>9,358</b>  | +8.9%  |
| 有償旅客数<br>(千人)                   | 1,844  | <b>2,007</b>  | +8.8%  |
| 座席利用率<br>(%)                    | 73.3%  | <b>77.9%</b>  | +4.6pt |
| イールド <sup>(1)</sup><br>(円)      | 12.5   | <b>11.7</b>   | ▲6.2%  |
| ユニットレベニュー <sup>(2)</sup><br>(円) | 9.1    | <b>9.1</b>    | ▲0.3%  |
| 単価 <sup>(3)</sup><br>(円)        | 58,132 | <b>54,539</b> | ▲6.2%  |

- ✓ 旅客収入は前年比+2.1%の1,094億円
- ✓ ASKは前年比+2.4%に対し、RPKは+8.9%となり、座席利用率は4.6pt上昇し77.9%
- ✓ イールド・単価は、前年比▲6.2%

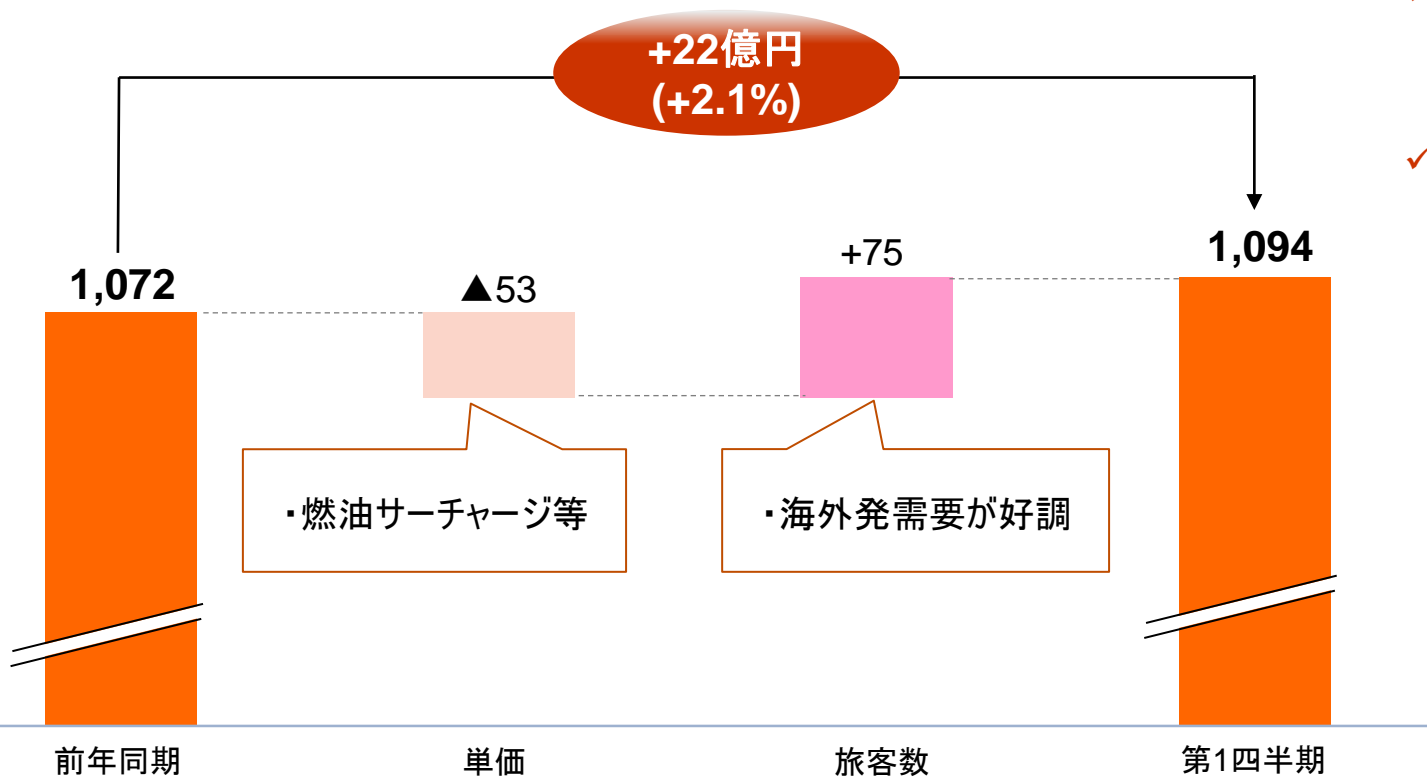


注: 1. イールド=旅客収入/RPK  
 2. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK  
 3. 単価=旅客収入/有償旅客数

- 国際線におきましては、ASKは前年対比2.4%増加、RPKは旺盛なインバウンド需要を取り込んだことで8.9%増加、座席利用率は4.6ポイント上昇の77.9%となりました。
- イールド、単価はそれぞれ6.2%減少となっておりますが、右下の図にある通り、単価変動要因として燃油サーチャージ収入の減少影響が約9%あることを加味すると、燃油サーチャージを除いた為替・純単価等は約3%増加したものと試算しております。

## 2016年3月期 第1四半期

(億円)



- ✓ 燃油サーチャージ収入の減少により単価が下落
- ✓ 中国、東南アジアを中心として海外発需要が好調

- 単価要因では、燃油サーチャージ収入の減少があったものの、為替・純単価等の上昇により、単価の下落を一部相殺しました。
- 旅客数要因では、円安やビザ緩和の効果などにより好調に推移しました。
- 以上により、国際旅客収入は、前年対比で2.1%増加の1,094億円となりました。

## 国内旅客事業の状況

|                                 | 前年同期   | 第1四半期         | 前年同期比  |
|---------------------------------|--------|---------------|--------|
| 旅客収入<br>(億円)                    | 1,057  | <b>1,099</b>  | +3.9%  |
| ASK<br>(百万席キ口)                  | 9,067  | <b>8,973</b>  | ▲1.0%  |
| RPK<br>(百万人キ口)                  | 5,654  | <b>5,663</b>  | +0.1%  |
| 有償旅客数<br>(千人)                   | 7,515  | <b>7,538</b>  | +0.3%  |
| 座席利用率<br>(%)                    | 62.4%  | <b>63.1%</b>  | +0.7pt |
| イールド <sup>(1)</sup><br>(円)      | 18.7   | <b>19.4</b>   | +3.7%  |
| ユニットレベニュー <sup>(2)</sup><br>(円) | 11.7   | <b>12.2</b>   | +5.0%  |
| 単価 <sup>(3)</sup><br>(円)        | 14,075 | <b>14,578</b> | +3.6%  |

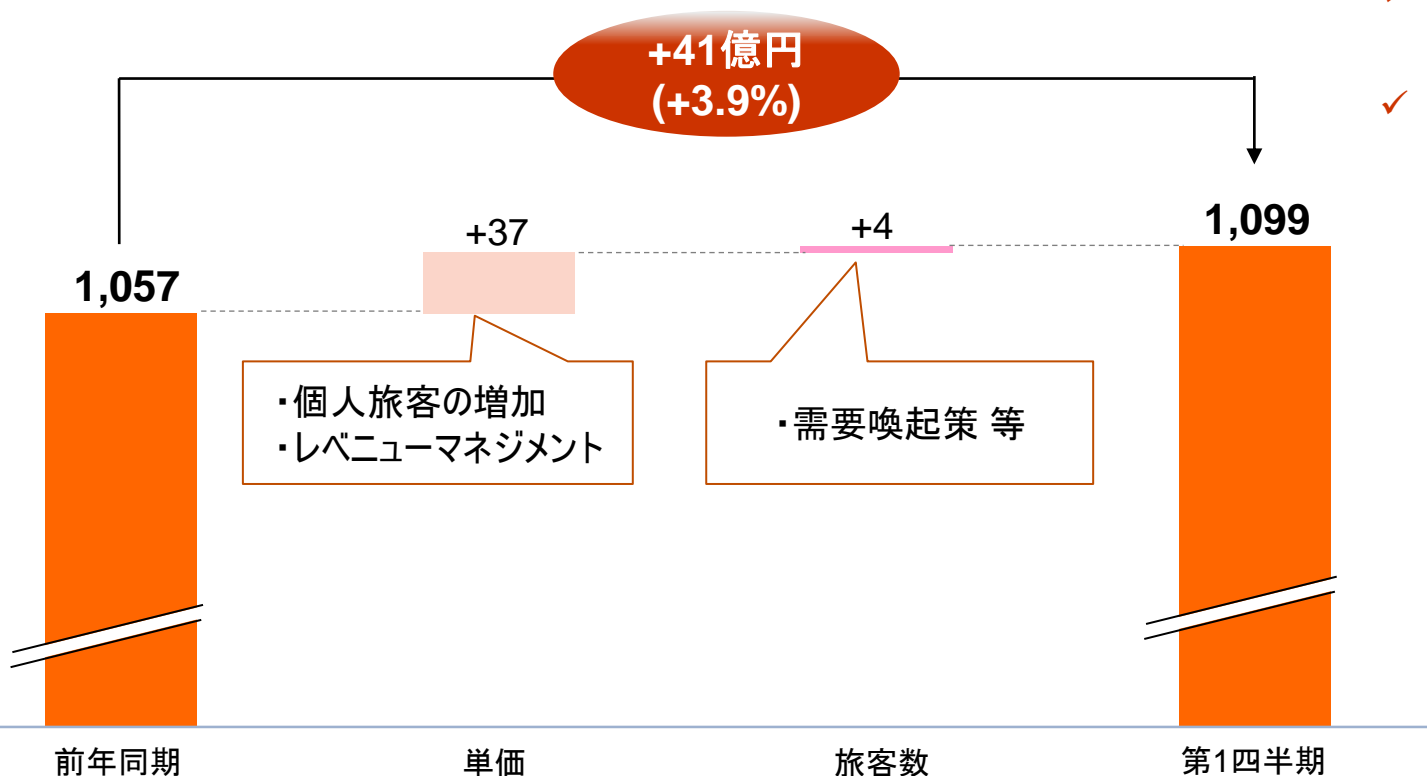
- ✓ 旅客収入は前年比+3.9%の1,099億円
- ✓ ASKは前年比▲1.0%に対し、RPKはプラスとなり、座席利用率は0.7pt上昇し63.1%
- ✓ イールドは前年比+3.7%、単価は前年比+3.6%

注: 1. イールド=旅客収入/RPK  
 2. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK  
 3. 単価=旅客収入/有償旅客数

- 国内線におきましては、ASKは前年対比1.0%減少したものの、RPKが0.1%増加となり、座席利用率は0.7ポイント上昇の63.1%となりました。
- イールドは前年対比3.7%増加、単価は3.6%増加した結果、国内旅客収入は3.9%増加の1,099億円となりました。

## 2016年3月期 第1四半期

(億円)



- ✓ JAL SKY NEXTが好評
  - ✓ 需要喚起策の実施などによる旅客増
    - ・「ウルトラ先得」の新設
    - ・JALダイナミックパッケージが好調
    - ・訪日旅客の増加
- など

- 単価要因では、個人旅客増加による需要構成の変化等により、前年対比37億円の増加となりました。
- 旅客数要因では、ASKが前年対比1.0%減少にもかかわらず、ウルトラ先得の新設やJALダイナミックパッケージ利用者の増加、訪日旅客の増加により、前年対比4億円の増加となりました。



## 営業費用内訳

| (単位: 億円)                  | 前年同期         | 第1四半期        | 前年同期差       | 前年同期比        |
|---------------------------|--------------|--------------|-------------|--------------|
| 燃油費                       | 736          | 599          | ▲137        | ▲18.6%       |
| 運航施設利用費                   | 199          | 204          | +4          | +2.2%        |
| 整備費                       | 112          | 114          | +1          | +1.6%        |
| 航空販売手数料                   | 57           | 60           | +2          | +4.5%        |
| 航空機材償却費                   | 166          | 176          | +9          | +5.9%        |
| 航空機材賃借料                   | 67           | 61           | ▲5          | ▲8.1%        |
| 人件費                       | 585          | 612          | +26         | +4.6%        |
| 旅行原価・商事流通等 <sup>(1)</sup> | 251          | 183          | ▲67         | ▲27.1%       |
| その他                       | 707          | 745          | +38         | +5.4%        |
| <b>営業費用計</b>              | <b>2,884</b> | <b>2,757</b> | <b>▲126</b> | <b>▲4.4%</b> |

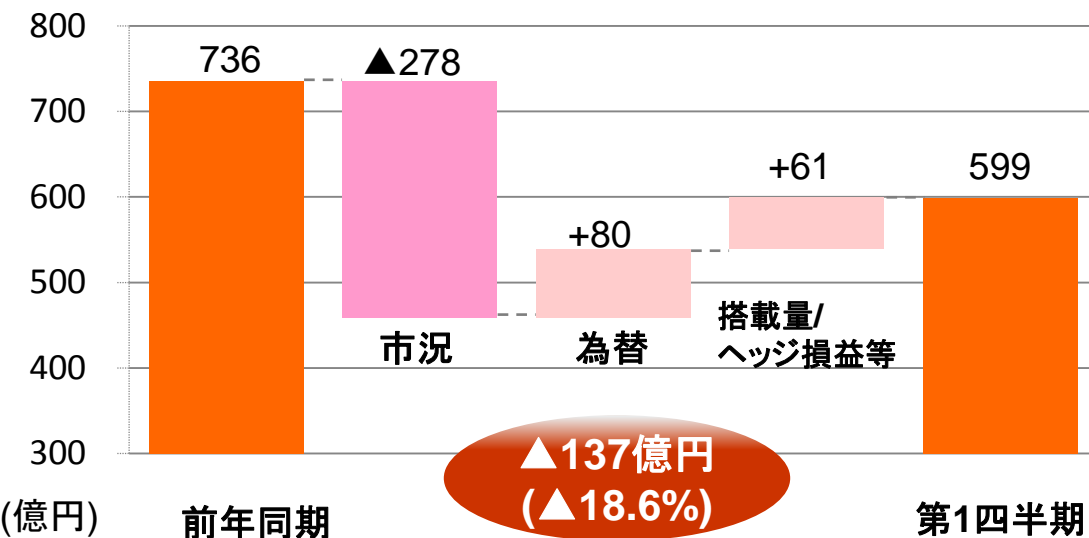
- ✓ 円安およびサービス強化のため  
の一部コスト増はあるものの、  
経費削減努力を継続中
- ✓ 燃油費は市況下落により、  
前年比▲18.6%の599億円
- ✓ 人件費はベースアップおよび  
為替影響等により、前年比  
+4.6%の612億円

ASK前年比: +0.9%

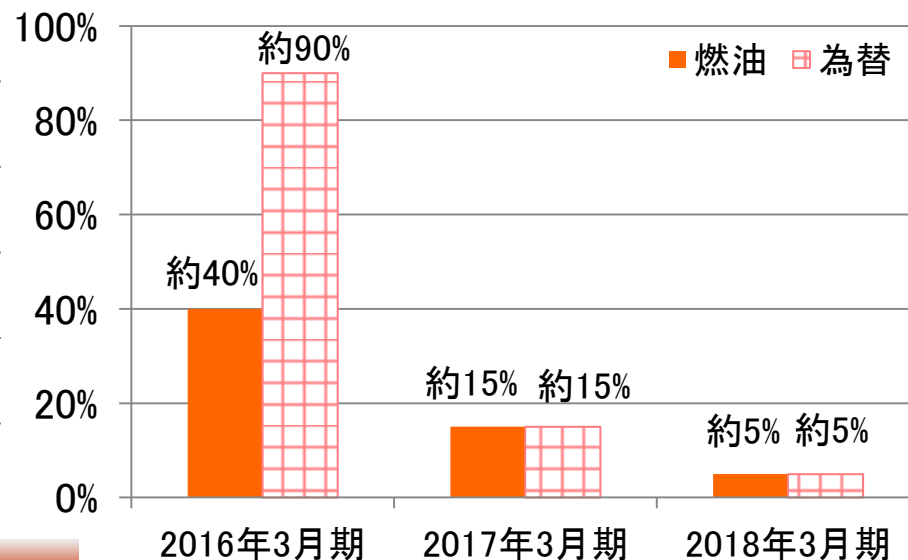
注: 1. 関連会社に対する燃油転売を含む

- 円安およびサービス強化のための一部コスト増はあるものの、経費削減努力を継続して参ります。
- 燃油費は、市況の下落により前年対比18.6%減少の599億円となりました。
- 人件費は、ベースアップや為替影響等により、前年対比26億円の増加となりました。
- 営業費用全体では前年対比4.4%減少の2,757億円となりました。

## 燃油費増減の推移



## 燃油に対する年度別ヘッジ概況 (2015年6月末時点)



## 燃油・為替市況実績

|                      | 2016年3月期計画 | 前年同期  | 第1四半期 | 前年同期比  |
|----------------------|------------|-------|-------|--------|
| 為替 (円/USD)           | 118.0      | 102.0 | 120.3 | +17.9% |
| シンガポールケロシン (USD/bbl) | 80.0       | 120.1 | 73.3  | ▲39.0% |
| ドバイ原油 (USD/bbl)      | 63.0       | 104.9 | 58.9  | ▲43.9% |

## 燃油費への感応度(ヘッジなし)

### 燃油費への影響 (2016年3月期)

|                  |       |
|------------------|-------|
| 原油 (1USD/bblの変動) | 約26億円 |
| 為替 (1円/USDの変動)   | 約17億円 |

- 燃油費の分析につきましては、左上のグラフをご覧ください。  
燃油市況の下落により前年対比278億円の減少となるものの、円安影響で80億円の増加、搭載量やヘッジ損益等で61億円の増加となり、前年対比137億円の減少となりました。

## 2016年3月期 第1四半期末 連結財務状況

| (単位: 億円)                 | 前年度末<br>2015/3/31 | 第1四半期末<br>2015/6/30 | 前年度末差  |
|--------------------------|-------------------|---------------------|--------|
| 総資産                      | 14,733            | <b>14,793</b>       | +60    |
| 現金及び預金                   | 3,649             | <b>3,513</b>        | ▲136   |
| 有利子負債残高 <sup>(1)</sup>   | 1,005             | <b>918</b>          | ▲87    |
| オフバランス<br>未経過リース料        | 1,250             | <b>1,217</b>        | ▲33    |
| 自己資本                     | 7,764             | <b>7,782</b>        | +17    |
| 自己資本比率 (%)               | 52.7%             | <b>52.6%</b>        | ▲0.1pt |
| D/Eレシオ(倍) <sup>(2)</sup> | 0.1x              | <b>0.1x</b>         | ▲0.0x  |

- ✓ 有利子負債残高は返済等により87億円減少し、918億円
- ✓ 自己資本比率は配当金支払い等により▲0.1ptとなり52.6%

注: 1. 割賦未払金を含む  
2. D/Eレシオ=オンバランス有利子負債/自己資本

(参考) ※第1四半期末  
オフバランス未経過リース料込みのD/Eレシオ:0.3x

- 有利子負債残高は、長期借入金やリース債務の返済が進み、前年度末から87億円減少の918億円となりました。
- オフバランス未経過リース料は、前年度末から33億円減少の1,217億円となりました。
- 自己資本比率は、配当金支払等により前年度末から0.1ポイント減少の52.6%となりました。

# キャッシュフローの状況



JAPAN AIRLINES

| (単位:億円)                           | 前年同期        | 第1四半期       | 前年同期差       |
|-----------------------------------|-------------|-------------|-------------|
| 税金等調整前四半期純利益                      | 175         | 391         | +216        |
| 減価償却費                             | 213         | 215         | +1          |
| その他                               | 230         | 296         | +65         |
| <b>営業キャッシュフロー合計</b>               | <b>619</b>  | <b>903</b>  | <b>+283</b> |
| 設備投資額 <sup>(1)</sup>              | ▲430        | ▲579        | ▲149        |
| その他                               | 16          | 24          | +8          |
| <b>投資キャッシュフロー合計<sup>(2)</sup></b> | <b>▲413</b> | <b>▲555</b> | <b>▲141</b> |
| フリーキャッシュフロー <sup>(3)</sup>        | 205         | 348         | +142        |
| 有利子負債返済 <sup>(4)</sup>            | ▲109        | ▲91         | +18         |
| 配当金・その他                           | ▲297        | ▲397        | ▲99         |
| <b>財務キャッシュフロー</b>                 | <b>▲407</b> | <b>▲488</b> | <b>▲81</b>  |
| <b>キャッシュフロー合計<sup>(5)</sup></b>   | <b>▲201</b> | <b>▲140</b> | <b>+61</b>  |
| EBITDA                            | 399         | 577         | +177        |
| EBITDAR                           | 467         | 639         | +172        |

- 注: 1.固定資産の取得による支出  
 2.定期預金の入出金を除く  
 3.営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー  
 4.長期借入金の返済+リース債務の返済  
 5.営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー

- 営業キャッシュフローの合計は、前年対比283億円増加の903億円となりました。
- 投資キャッシュフローでは設備投資額が前年対比149億円増加しておりますが、これは主に航空機投資等によるものであり、計画通りの進捗となっております。
- 財務キャッシュフローは有利子負債の返済、配当金支払等の結果、488億円のキャッシュアウトフローとなり、キャッシュフロー合計は140億円のキャッシュアウトフローとなりました。



# 2016年3月期業績予想(連結業績)



JAPAN AIRLINES

| (単位:億円)              | 2015年3月期<br>実績 | 2016年3月期<br>予想 | 差      |
|----------------------|----------------|----------------|--------|
| 営業収益                 | 13,447         | <b>13,280</b>  | ▲167   |
| 営業費用                 | 11,650         | <b>11,560</b>  | ▲90    |
| 営業利益                 | 1,796          | <b>1,720</b>   | ▲76    |
| 営業利益率                | 13.4%          | <b>13.0%</b>   | ▲0.4pt |
| 経常利益                 | 1,752          | <b>1,690</b>   | ▲62    |
| 当期純利益 <sup>(1)</sup> | 1,490          | <b>1,440</b>   | ▲50    |

| (単位:億円)                   |        | 2015年3月期<br>実績 | 2016年3月期<br>予想 | 差    |
|---------------------------|--------|----------------|----------------|------|
| 営業収益                      | 国際旅客収入 | 4,548          | <b>4,450</b>   | ▲98  |
|                           | 国内旅客収入 | 4,875          | <b>4,940</b>   | +64  |
|                           | 貨物郵便収入 | 983            | <b>970</b>     | ▲13  |
|                           | その他の収入 | 3,039          | <b>2,920</b>   | ▲119 |
| 営業費用                      | 燃油費    | 2,825          | <b>2,650</b>   | ▲175 |
|                           | 燃油費以外  | 8,824          | <b>8,910</b>   | +85  |
| ユニットコスト(円) <sup>(2)</sup> |        | 8.9            | <b>9.0</b>     | +0.1 |

|          | 2015年<br>3月期<br>実績 | 2016年<br>3月期<br>予想 |
|----------|--------------------|--------------------|
| ASK* 国際線 | +3.2%              | +3.1%              |
| 国内線      | ▲2.1%              | +0.7%              |
| RPK* 国際線 | +2.0%              | +5.9%              |
| 国内線      | +1.0%              | +0.8%              |

\*前年比

|                             |       |       |
|-----------------------------|-------|-------|
| シンガポール<br>ケロシン<br>(USD/bbl) | 103.5 | 80.0  |
| ドバイ原油<br>(USD/bbl)          | 87.6  | 63.0  |
| 為替(円/USD)                   | 108.4 | 118.0 |

✓ 前回公表値から変更なし

注: 1. 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益  
2. ユニットコスト=航空運送連結費用(燃油費、収入費用両建ての関連会社向け取引を除く) / ASK

- 本ページでは、2016年3月期の業績予想をお示ししております。
- まだ第1四半期を経過した段階のため通期の業績予想は変更いたしません、引き続き増収増益を目指してまいります。
- なお、資料の最後に参考資料といたしまして、国際線収入大路別実績と、保有航空機一覧を記載しておりますので、ご覧ください。

## 参考資料

# 《参考》国際線収入大路別実績



JAPAN AIRLINES

## 旅客収入(対国際線全体比率)

| (単位:%)    | 前年同期  | 第1四半期 | 前年同期差  |
|-----------|-------|-------|--------|
| 太平洋線      | 35.0% | 35.5% | +0.5pt |
| 欧州線       | 18.0% | 16.0% | ▲2.0pt |
| アジア・オセアニア | 35.0% | 36.5% | +1.5pt |
| 中国線       | 12.0% | 12.0% | +0.0pt |

## ASK

| (単位:百万席キロ) | 前年同期  | 第1四半期 | 前年同期比  |
|------------|-------|-------|--------|
| 太平洋線       | 4,444 | 4,810 | +8.3%  |
| 欧州線        | 1,967 | 1,934 | ▲1.7%  |
| アジア・オセアニア  | 4,412 | 4,450 | +0.8%  |
| 中国線        | 903   | 812   | ▲10.1% |

## RPK

| (単位:百万人キロ) | 前年同期  | 第1四半期 | 前年同期比  |
|------------|-------|-------|--------|
| 太平洋線       | 3,530 | 3,835 | +8.6%  |
| 欧州線        | 1,453 | 1,375 | ▲5.4%  |
| アジア・オセアニア  | 3,071 | 3,503 | +14.1% |
| 中国線        | 540   | 643   | +18.9% |

## 有償旅客数

| (単位:千人)   | 前年同期 | 第1四半期 | 前年同期比  |
|-----------|------|-------|--------|
| 太平洋線      | 449  | 488   | +8.8%  |
| 欧州線       | 158  | 151   | ▲4.5%  |
| アジア・オセアニア | 947  | 1,024 | +8.1%  |
| 中国線       | 289  | 343   | +18.8% |

## Load Factor

| (単位:%)    | 前年同期  | 第1四半期 | 前年同期差   |
|-----------|-------|-------|---------|
| 太平洋線      | 79.4% | 79.7% | +0.3pt  |
| 欧州線       | 73.9% | 71.1% | ▲2.8pt  |
| アジア・オセアニア | 69.6% | 78.7% | +9.1pt  |
| 中国線       | 59.9% | 79.2% | +19.3pt |

# 《参考》保有航空機一覽



JAPAN AIRLINES

|           |                   | 前年度末<br>2015/3/31 |            |            | 第1四半期末<br>2015/6/30 |            |           | 増減 |
|-----------|-------------------|-------------------|------------|------------|---------------------|------------|-----------|----|
|           |                   | 所有                | リース        | 合計         | 所有                  | リース        | 合計        |    |
| 大型機       | Boeing 777-200    | 13                | 0          | 13         | 12                  | 0          | 12        | ▲1 |
|           | Boeing 777-200ER  | 11                | 0          | 11         | 11                  | 0          | 11        | -- |
|           | Boeing 777-300    | 7                 | 0          | 7          | 5                   | 0          | 5         | ▲2 |
|           | Boeing 777-300ER  | 13                | 0          | 13         | 13                  | 0          | 13        | -- |
|           | 大型機 小計            | 44                | 0          | 44         | 41                  | 0          | 41        | ▲3 |
| 中型機       | Boeing 787-8      | 20                | 0          | 20         | 22                  | 0          | 22        | +2 |
|           | Boeing 787-9      | 0                 | 0          | 0          | 1                   | 0          | 1         | +1 |
|           | Boeing 767-300    | 13                | 0          | 13         | 13                  | 0          | 13        | -- |
|           | Boeing 767-300ER  | 24                | 8          | 32         | 25                  | 7          | 32        | -- |
|           | 中型機 小計            | 57                | 8          | 65         | 61                  | 7          | 68        | +3 |
| 小型機       | Boeing 737-400    | 12                | 0          | 12         | 12                  | 0          | 12        | -- |
|           | Boeing 737-800    | 21                | 29         | 50         | 21                  | 29         | 50        | -- |
|           | 小型機 小計            | 33                | 29         | 62         | 33                  | 29         | 62        | -- |
| リージョナル機   | Embraer 170       | 15                | 0          | 15         | 15                  | 0          | 15        | -- |
|           | Bombardier CRJ200 | 9                 | 0          | 9          | 9                   | 0          | 9         | -- |
|           | Bombardier D8-400 | 9                 | 2          | 11         | 9                   | 2          | 11        | -- |
|           | SAAB340B          | 13                | 0          | 13         | 13                  | 0          | 13        | -- |
|           | Bombardier D8-300 | 1                 | 0          | 1          | 1                   | 0          | 1         | -- |
|           | Bombardier D8-100 | 4                 | 0          | 4          | 4                   | 0          | 4         | -- |
|           | リージョナル機 小計        | 51                | 2          | 53         | 51                  | 2          | 53        | -- |
| <b>合計</b> | <b>185</b>        | <b>39</b>         | <b>224</b> | <b>186</b> | <b>38</b>           | <b>224</b> | <b>--</b> |    |

明日の空へ、日本の翼



**JAPAN AIRLINES**

当資料に関するお問い合わせ先

日本航空株式会社

財務・経理本部 財務部

電話番号 03-5460-3068

本資料には、日本航空株式会社(以下「当社」といいます)及びそのグループ会社(以下当社と併せて「当社グループ」といいます)に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点(又はそこに別途明記された時点)において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点(又はそこに別途明記された時点)のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。